

教育民生常任委員会 行政視察報告 7月17日(水)～19日(金)

●長野県茅野市 「若者に選ばれるまちプロジェクト研究について」
●岐阜県恵那市 「女性が生き生きと暮らせるまち推進事業について」
●恵那中央出張所 えなえーる 現地視察



▲長野県茅野市 会議室

◎茅野市 人口減少に伴う課題が山積するなか、企業版ふるさと納税を活用し「若者に選ばれるまち」の実現に向け産学官が連携し、プロジェクト研究会を立ち上げ、課題解決に取り組んでいた。
募集した10名の研究員から新事業のアイデアを募り、産学官担当者の指導のもと、研究員同士の議論を通じて地域課題の解決につながる事業を構想し、一部は事業化している。(茅野市民になりたくあるライフスタイル創造「地ビル」のある「暮らし」の提案)



▲岐阜県恵那市 えなえーる

本市でも若者が発言しやすく、活躍できる環境を継続して整備していくことが重要であると感じた。
研究であった。
◎恵那市 本市の課題である、若い世代や女性の転出等による人口減少対策を学ぶため、『女性が生き生きと暮らせるまち推進事業』の取組を研修した。
また、「女性活躍」や「食」に関する事業の拠点施設としてショッピングセンター内に「恵那中央出張所えなえーる」を開設しており、イベント等を開催し、幅広い世代にPRするとともに誰もが気軽に立ち寄れる場所にしていった。
本市が駅前に整備を進めている複合施設も、先進地にならない、にぎわい創出の拠点となるよう提言してまいりたい。

申し込みによる

出張!! なんでも意見交換会を開催しました

6月20日 北都銀行湯沢支店「明日の湯沢を考える会」、みずほ銀行、産業建設常任委員会とで「電子マネーによる地域決済ソリューションについて」の意見交換会が開催されました。
意見交換会では、みずほ銀行より、スマホ決済サービス「i-Coni Pay」を地域限定の電子地域通貨として活用し、地域内経済の循環を促進する可能性について、他自治体の事例を交えながら説明がありました。

「i-Coni Pay」を地域限定の電子地域通貨として活用し、地域内経済の循環を促進する可能性について、他自治体の事例を交えながら説明がありました。産業建設常任委員会では、5月14日に岐阜県飛騨市で導入されている電子地域通貨「さるぼコイン」の取り組みを視察した内容をもとに、導入に伴う課題や可能性について活発な議論が展開されました。

なお、同委員会では9月12日に湯沢市産業振興部などの関連部署に対して「地域通貨の可能性について」を調査項目とした所管事務調査を実施しました。引き続き本市の経済活性化に繋がる取り組みを調査研究していきます。

